

# 北陸ブロック母と女性教職員の会 開催!

8月21(日)~22日(月)、金沢都ホテルに石川・富山・新潟・福井が集い、「北陸ブロック母と女性教職員の会」が開催されました。福井県からは保護者5名と女性教職員8名、県教組本部2名の計15名が参加しました。

1日目の全体会・講演はNPO法人ファザーリング・ジャパン安藤哲也さんでした。安藤さんは企業や自治体で、「イクボス」の研修を数多く行っている方で著書に「パパの極意~仕事も育児も楽しむ生き方」があります。演題は「仕事も育児も楽しもう!笑顔のパパが社会を変える」で父親が育児に関わるメリットを講演されました。



講師 安藤 哲也 さん



分科会の様子

2日目は7分科会に分かれて、保護者と教職員が活発に意見交流を行いました。第6分科会「男女の自立と平等」では、芦原中分会の有田留美子さんが「いっしょにめざそう!自立と平等~家庭科でとりくむ男女共生~」のテーマで学校でのとりくみを発表しました。また、春江西小分会の小林千春さんが記録、美浜中央小の木子妙子さんと遠敷小の山根亮子さんがコーディネーターとして活躍されました。

## 参加者の感想

・安藤さんの「仕事も育児も楽しもう」という姿勢がとても新鮮でした。分科会では、どの地域でも人口減少という課題を抱え、若者をいかに地域にとどめておくかが問題になっていました。提案では総合的な学習の様子が紹介され、生徒の素晴らしい調査や提案が行政に活かしたらよいという意見もあり、勉強になりました。

・有田さんはNPO法人や市の子育て支援センター、地域の方々と上手にタイアップし「浴衣の着付け」「幼児とのふれあい、赤ちゃん先生プロジェクト」など、興味深い実践をたくさんされているので驚きました。人間関係が希薄になっている昨今、このような経験は子どもたちにとって将来に向けての貴重なものになると感じました。



・学級担任、専科担当、特別支援学級担任等、それぞれの立場で抱えている問題を出し合い、学級集団づくりで大切なことは何か話し合いました。また、子ども同士がつながり合うための有効な手立てをグループ協議で出し合いました。「アドラー心理学に基づいた学級集団づくり」や「児童同士がつながる学習活動を意図的に多く設定したとりくみ」等、自分自身も取り入れてみたい内容がたくさんあり、大変勉強になりました。